

ガイダンス I

教科(科目)	ガイダンス1	単位数	1単位	学科・学年・コース・組	1年次
使用教科書	産業社会と人間 (準教科書; 学事出版)				
副教材等	自作プリント				

1 学習の到達目標

単位制高校のしくみと特徴を知る。
 自己理解を深め、将来の適性について考える。
 進路の方向性について考え、適切な科目選択が行えるようにする。

2 指導の重点

単位制の授業の特徴を理解する。
 職場や上級学校について知る。
 2年次の選択科目をよく考え適切な科目選択をする。
 自己理解を深め、自分の将来について考える。

3 学習の計画

	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	学校を知る	単位制高校のしくみ、学校のきまりについて	4	ガイダンスノート 自己評価 出席状況 授業態度
	ガイダンス I とは	ガイダンス I の学習内容・目標について	1	
	性の講演会	外部講師による講演会	2	
	考査前指導	考査時間割作成表	1	
後期	学習計画	履修の手引き・科目説明会・個別指導・面談	7	
	進路講話	外部講師による進路講演会	2	
	K J Q	K J Q ワークブック・調査用紙	4	
	スキー教室事前学習	班分け・事前指導、集団行動を行う上での注意点	3	
	集団生活を学ぶ	スキー教室における集団生活	6	
	スキー教室事後学習	スキー教室での行動を振り返る	1	
	進路を考える	閲覧室の利用方法や履歴書の書き方	1	
	進路ガイダンス	進路別に相談	3	
	これからの学習計画	次年度の履修計画の確認	1	
	レディネステスト	レディネステストと振り返り	2	
社会人講演会	外部講師による講演会	2		

計 40 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

毎時間ガイダンスノートを記入し提出。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会問題・進路をふまえた科目選択、福祉体験、自己理解・自己分析などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	社会問題、進路をふまえた科目選択、福祉体験、自己理解・自己分析などについて思考を深め、適切に判断する能力を身に付けている。	社会問題、進路をふまえた科目選択、福祉体験、自己理解・自己分析などの学習活動を実践するとともにその成果を適切に表現することができる。	多様な選択科目の中から、卒業要件や進路をふまえた科目選択の方法について理解している。

6 担当者からの一言

自分自身を見つめ、適性を考えながら自己の進路にあわせた科目選択をします。また、さまざまな見学・体験をとおして社会との関わりを考えていきます。

教科(科目)	ガイダンスⅡ	単位数	1 単位	学科・学年・コース・組	2 年次
使用教科書	産業社会と人間 (準教科書；学事出版)				
副教材等	自作プリント				

1 学習の到達目標

自己と社会の接点を知り、将来の方向性を定める。
 希望進路実現のために適切な科目選択をする。
 自己のあり方、生き方を考え、ライフプランをまとめる。

2 指導の重点

積極的に授業に参加する。
 ガイダンスノートに真剣に取り組み、しっかりと提出する。

3 学習の計画

	単 元 名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	これからの学習	履修計画表により自分の時間割・教室の確認	1	ガイダンスノート
	ガイダンスⅡとは	ガイダンスⅡの学習内容・目標について	1	自己評価
	進路について考える	より良い進路選択をするために	1	出席状況
	アサーション①	より良い人間関係を築くために	1	授業態度
	適性検査	一般職業適性検査	3	
	性の講演会	外部講師による講演会	2	
	学習計画	科目説明会・個別指導	7	
後 期	社会を知る①	新聞記事を読む	1	
	進路講話	講師による講話 (※去年はキャリアアップサポーター)	2	
	アサーション②	アサーショントレーニング	1	
	進路活動 (進学・就職)	入試方法や希望職種について	4	
	一般常識	高校生・社会人としての常識について。	1	
	社会人講演会	外部講師による職業講演会	2	
	進路活動 (進学・就職)	希望進学先の調査、求人票の見方	2	
	社会人講演会	進学、就職に分かれた外部講師による講演会	2	
履修確認	次年度の履修計画の確認、面談	1		
進路ガイダンス	進路別の相談会	3		

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

毎時間ガイダンスノートを記入し提出する。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会問題・進路をふまえた科目選択、自己理解・自己分析などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	社会問題、進路をふまえた科目選択、自己理解・自己分析などについて思考を深め、適切に判断する能力を身に付けている。	社会問題、進路をふまえた科目選択、自己理解・自己分析などの学習活動を実践するとともにその成果を適切に表現することができる。	多様な選択科目の中から、卒業要件や進路をふまえた科目選択の方法について理解している。

6 担当者からの一言

より豊かな人間性を身に付けるために、様々な内容の授業が行われます。自己理解・自己分析をし、適性を考えながら進路を考える必要があります。そのために必要な履修計画をたててください。また、見学や体験等とおして社会との関わりを身につけていきます。

教科(科目)	ガイダンスⅢ	単位数	1 単位	学科・学年・コース・組	3年次
使用教科書	産業社会と人間(準教科書;学事出版)				
副教材等	自作プリント				

1 学習の到達目標

社会との関わりを考え自己の生き方あり方を考える。

- ・ 自己理解を深め、自分の進路を実現する。
- ・ 社会人として必要となる学習と準備を行う。

2 指導の重点

- ・ 積極的に授業に参加する。
- ・ ガイダンスノートをきちんと完成させる。

3 学習の計画

	単 元 名	学習活動(指導内容)	時数	評価方法
前 期	これからの学習	履修計画表により自分の時間割・教室の確認	1	ガイダンスノート
	ガイダンスⅢとは	ガイダンスⅢの学習内容・目標について	1	自己評価
	面接トレーニング①	年次担当や外部講師による面接の基本トレーニング	3	出席状況
	意識啓発セミナー	進路手続きの確認とハローワーク職員によるセミナー	3	授業態度
	進路学習	志望理由書作成、企業説明会参加について	1	
	性の講演会	外部講師による講演会	2	
後 期	面接トレーニング②	年次担当や外部講師による面接実践など	1 2	
	進路相談	進路別の相談会	1	
	社会を知る	ボランティアについて考える	2	
	労働ワンポイント講座	ハローワーク職員による講座	1	
	社会保障制度	社会保障制度の役割、健康保険、年金について	2	
	男女平等問題	ジェンダーにとらわれず社会生活を送るためには	1	
	環境問題・国際問題	国内外における環境問題と社会のグローバル化について	1	
	職業人としてのスキル向上	社会人として身につけておきたい常識やマナーについて	2	
巣立ち教室	外部講師の金融広報アドバイザーによる消費生活講座	2		

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

ガイダンスノート

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
「進路の決定・実現にむけて」、「社会を知る」、「より豊かな人生を送る」などに関心を持ち、意欲を持って学習活動に取り組んでいる。	「進路の決定・実現にむけて」、「社会を知る」、「より豊かな人生を送る」などについて思考を深め、適切に判断する能力を身につけている。	「進路の決定・実現にむけて」、「社会を知る」、「より豊かな人生を送る」などの学習活動を実践するとともに、その成果を的確に表現することができる。	卒業要件や進路決定、実現の方法、手順について理解している。社会人として知っておかなければならないマナーを理解する。

6 担当者からの一言

ガイダンスⅢは卒業後の進路に備え、授業がより具体的な内容で行われます。全ての授業を自分のこととして、真剣に取り組んで下さい。